

2021.11.13 横山教育奨学会海外留学支援制度を設立

本校では学校の教育目標の一つとして、英語教育の重点化を図っています。

その一環として、来年度から「横山教育奨学会留学支援事業」を実施することにしました。これは、1年間の留学を希望する生徒に対して、100万円ずつ2人に支援するものです。来年4月に本校附属中学校3年生と高校1年生を対象に募集を開始し、2023年夏の出発を予定しています。全国的にも、留学にこれだけ手厚い支援を行うことはあまり例のない取り組みです。

留学を通して、グローバルな視点をもった生徒を育てていきます。

2021年11月13日(土) 茨城新聞



海外留学支援制度などについて説明する横山教育奨学会の大森眞一理事長(右)＝常陸太田市栄町

太田一高 来年募集

付属中2年生
第1期説明会 希望2人に各100万円

県立太田一高(常陸太田市栄町、鈴木清
隆校長)は独自の海外留学支援制度を設立
し、5日、第1期生の対象となる同高付属
中2年生28人への説明会を開いた。1年間
の留学を希望する生徒2人に対し、1人1
00万円を支援する。同校がこれに先立ち、
全国的にも極めて珍しい手厚い留学支援に
なるといふ。

独自の海外留学支援

海外留学支援制度などについて説明する横山教育奨学会の大森眞一理事長(右)＝常陸太田市栄町

同高卒業生で、元日立化
成工業(現日立化成)社長
を務めた故横山亮次氏が創
設した「横山教育奨学会」
(大森眞一理事長)の支援
を得て実現した。同奨学会
では、これまでも同校の発
展向上に資すると差別的
に、成績優秀生徒に奨学金
の支援を行ってきた。

同校では教育目標の一つ
として英語教育の重点化を
図っており、世界に羽ばた
く生徒を育む取り組みの一
つとして期待している。同
支援制度は来年4月に、同
高付属中学校3年生と同
高校1年生を対象に募集を
開始し、2023年夏の出
発を予定。同高校1、2年
生の留学を支援することに
なる。奨学生は生徒の希望
する国になるという。

説明会では、大森理事長
が創設者の横山氏の経歴や
人柄などを紹介。全社役員

の選任で同市に居を構える
際に、同級生からの「地元
に戻るなら太田の町に戻返
しのできるものを考えて
は」との提案を受け、同奨
学会を1998年に設立し
た経緯などを説明した。
大森理事長は生徒を前
に、「早期を広げるには外
に出るのがよいこと。どこ
の国でも行けるチャンスが
あれば行ってほしい。今か
ら夢を持って行動してほし
い」と期待した。

鈴木校長は「1年間のサ
ポートをこれだけできるシ
ステムは全国的にもないの
では。異文化に飛び込み、
世界の広さを実感し、どん
な社会貢献ができるのかを
考える機会にしてほしい」と
話した。(飯田勉)

茨城新聞社様より掲載許可を頂いております。